

# 【外国語・小5・「Unit 6 What would you like?」①】

## 育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) 「What would you like?」「I'd like ~.」「How much is it?」「It's ~ yen.」やその関連語句について理解している。
- (思・判・表) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。
- (学びに向かう力) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

## ICT活用のポイント

- ①前時の振り返りをいかにした授業導入の工夫 (ICTを活用して児童の振り返りを集約、一覧表示し学級で共有)
- ②ALTの音声を何度も聞いたり、自分の発音を聞き直したりする (録音機能の活用)

### 【つかむ】

Small Talkを聞き、単元の課題について「目的・場面・状況」を把握する。

### 【追及する】

新出言語材料を言語活動の中で活用させる。

### 【まとめる】

丁寧な表現を用いて、注文を尋ねたり、答えたりする言語活動に取り組む。

## 事例の概要

- 前時の振り返りの記述を、本時の導入時に行うSmall Talkにいかす。
- 話す活動の際に用いる表現の音声をICT端末で共有し、必要に応じて聞き直す。

### 【事例におけるICT活用の場面①】

- 前時の振り返りを一覧表示し、教師 (JTE、ALT) のコメントを付け児童と共有する。児童の記述内容を基に本時のSmall Talkにいかす。

### 【事例におけるICT活用の場面②】

- 本時の言語活動 (「話すこと [やりとり]」) の際に用いる表現の音声をタブレットで共有する。必要に応じて発音を確認しながら言語活動に取り組む。
- 自分の発音を録音することで、自分の発音を客観的に聞く機会とする。また、その音声を提出させることで、児童のつまずきを教師が把握する。

# 【外国語・小5・「Unit 6 What would you like?」②】

## 【事例におけるICT活用の場面①】



写真1



写真2

- ・前時の振り返りを一覧表示し全体で共有した。教師からのコメントも付けられている。(写真1)  
記述の多かった疑問点等を盛り込んだSmall Talkを行い本時の課題をつかませる。
- ・毎時間ICT端末に振り返りを入力する。(写真2)  
児童の振り返りを表計算ソフトに集約した後、教師がコメントを書いたり、記述内容を分類し色分けしたりすることで、児童の学びの自覚を一層促し、その後の意欲的な学習態度へとつなげている。

## 【事例におけるICT活用の場面②】



- ・本時の言語活動で活用する表現の音声（ALTの声を事前に録音）をICT端末で共有した。発音に自信がない児童は何度も聞いて確認をしてから言語活動に取り組むことができた。
- ・本時のまとめとして言語活動で話した一人一人の表現の音声を、ICT端末に録音し、データで提出させた。児童にとって、自分の発音を客観的に聞き、自己の課題に気付く機会となる。提出された音声を教師（JTE、ALT）が聞き、個々の生徒の課題を把握することで、次時の指導にいかすことができる。

### 【活用したソフトや機能】

- ・文書作成ソフト
- ・表計算ソフト
- ・マイク機能  
(音声再生、録音)
- ・学習支援ソフト